

宇治市第7次行政改革実施計画
取組状況(案)
< 令和2年度実績 >

宇治市

評価欄の考え方・視点

評価は、第7次行政改革を効果的・効率的に進めていくため、PDCAサイクルに基づいたマネジメントにより、見直しを行います。それぞれの取組項目における、評価年度の実施目標「計画(P)」に対して、どの程度「実行(D)」できたかを、実績を踏まえて「評価(C)」を行い、次年度の実施内容「改善(A)」に反映させるために行ったものです。

1. 構成について

第7次行政改革は4つの基本施策とそれぞれに3つずつ具体的な方策を定めており、それぞれの方策の内容、総合評価、課題及び今後の方向性を記載し、あわせて方策を実現するために実施計画に取組項目を定めており、実績、目標、取組項目に対する評価を記載しています。

<p>【基本施策1】 行政運営の品質向上と効率化の推進</p> <p>【具体的な方策】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 市民サービスの品質向上2. ICT利活用の推進3. 民営化・民間委託化の推進	<p>【基本施策2】 持続可能な行財政運営の確立</p> <p>【具体的な方策】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 財政健全化の推進2. 抜本的な事務事業の見直し3. 新たな歳入創出と財源の確保
<p>【基本施策3】 時代に即した組織体制の確立</p> <p>【具体的な方策】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 組織改革の推進2. 給与等の適正管理3. 人材育成の推進	<p>【基本施策4】 多様な主体との協働とまちづくりの推進</p> <p>【具体的な方策】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 市民参画・協働の推進2. NPO・大学等各種団体との協働の推進3. 公共施設等アセットマネジメントの推進

2. 当該年度の内容と取組実績について

取組項目の内容に対して年度ごとに実施目標を定め、当該年度の実績に応じて、「達成」・「未達成」により評価します。また、数値目標のあるものについては、当該年度の目標値の「達成」・「未達成」により評価します。

3. 総合評価について

具体的な方策ごとに全取組項目に対する目標達成割合に応じて、次の評価基準により、総合的に評価します。

【評価基準】		
A評価:	目標達成率 75%以上	～ 100%
B評価:	目標達成率 50%以上	～ 75%未満
C評価:	目標達成率 25%以上	～ 50%未満
D評価:	目標達成率 0%	～ 25%未満

4. 課題及び今後の方向性について

取組項目の実績・達成状況及び総合評価の内容から、課題となっている事項及び課題を踏まえて対応する今後の方向性について、記載しています。取組目標及び目標達成率の向上に向けて、次年度以降の取組内容に今後の方向性等を反映します。

第7次行政改革実施計画

基本施策	1 行政運営の品質向上と効率化の推進			
具体的な方策	1 市民サービスの品質向上			
内容	これまで取り組んできた接客技術の向上や情報発信の充実など利用者の満足度に直結するサービスの質的向上に引き続き取り組みながら、市民がより利用しやすい窓口サービスの充実等、さらなる市民サービスの品質向上に向けた取組を進めます。			
総合評価	平成30年度 A (3/3)	令和元年度 A (3/3)	令和2年度 A (3/3)	令和3年度
課題及び今後の方向性	市民サービス品質向上検討会議において、総合案内、窓口サービス等の充実について方向性の検討を行い、取組の具体化が必要である。また、市民の利便性向上に向けて申請書類の合理化等についても並行して取り組む必要がある。			

令和2年度				
取組項目	窓口コンシェルジュの設置		担当課	窓口担当課
内容	市民に付き添いながら、窓口を案内する窓口コンシェルジュの設置に向けてのあり方を検討し、随時実施するなど窓口サービスの充実を図ります。			
令和2年度取組実績	市民サービス品質向上検討会議において、ICTを活用した窓口案内などの手法について他自治体の事例も参考に検討を行った。 また、保育コンシェルジュの設置を引き続き行い、市役所窓口や電話等で保育を希望される保護者の方の相談に対応し、広く子育てに関わる個別ニーズにあわせたサービスの情報提供等を実施した。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施
実績	検討・一部実施	検討・一部実施	検討・一部実施	
評価	達成	達成	達成	

令和2年度				
取組項目	各種申請手続の簡素・合理化		担当課	窓口担当課
内容	ワンストップ総合窓口の設置や各種申請書類の合理化を検討・実施し、市民の利便性の向上を図ります。			
令和2年度取組実績	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、密の回避、利便性の向上を目的として、各証明書類等のオンライン申請を可能とする環境整備について検討を進めた。また、オンライン申請を推進する上で課題となる記名、押印については、その必要性を整理し、今後の押印見直しの取組に向けた準備を行った。 子育てに関連する各窓口において、基本的な子育て支援の相談が可能となるよう子育てパートナー職員の養成を進めており、引き続き取組を実施した。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	検討	検討	準備	実施
実績	検討	検討・一部実施	準備・一部実施	
評価	達成	達成	達成	

令和2年度				
取組項目	窓口サービス等の充実		担当課	窓口担当課
内容	市民サービス品質向上検討会議で窓口サービスや情報発信などの充実方策を検討し、実施可能な取組から随時実施します。			
令和2年度取組実績	市民への情報発信においては、幅広い世代に向け、防災、子育てやイベント・催し、ごみの出し方など総合的な市政情報を効果的に発信するため、既存の子育てLINE等のアカウントを統合し、機能を拡充してリニューアルを行った。また、新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、感染症対策に特化した専用サイトを作成するとともに、市民、事業者の皆様を対象とした支援等をまとめたしおりを作成し、わかりやすい情報発信に努めた。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	実施	実施	実施	実施
実績	実施	実施	実施	実施
数値目標	窓口対応満足度 (H28: 67%)			
目標	-	75%	-	80%
実績	-	-	79%	
評価	達成	達成	達成	

第7次行政改革実施計画

基本施策	1 行政運営の品質向上と効率化の推進			
具体的な方策	2 ICT利活用の推進			
内容	事務処理の効率化やコストの縮減、市民の利便性の向上を図るため、個人情報保護や情報セキュリティ対策を講じながら、マイナンバーカードの活用を含めた行政運営全般におけるICTの導入に向けて研究・検討し、随時取組を進めます。			
総合評価	平成30年度 A (3/3)	令和元年度 A (3/3)	令和2年度 A (3/3)	令和3年度
課題及び今後の方向性	国においてもSociety5.0の取組が推進されており、市民サービスの向上及び行政運営の効率化の観点から、ICT利活用推進検討会議においてデジタル化に向けた方向性を決定し、さらなるICTの利活用を推進する必要がある。			

令和2年度				
取組項目	ICTの利活用		担当課	IT推進課・総務課・経営戦略課
内容	組織横断的なICT利活用検討会議を設置し、行政運営全般におけるICTの導入について検討し、実施可能な取組から随時実施し、事務処理の効率化やコストの縮減、市民の利便性の向上を図ります。			
令和2年度取組実績	一部試行的に導入していたキャッシュレス決済について、市・府民税、固定資産税、軽自動車税や水道料金へ順次導入を行い、利便性の向上を図った。また、ICT利活用推進検討会議にて、ICTの積極的な活用を目指して指針の策定を進める中で、行政手続のオンライン化の推進やAI・RPAの利用促進など市民サービスの向上、行政事務の効率化に向けた検討を行った。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、スマートフォンで利用できるデジタルクーポンを発行して事業者支援を行うとともに、対面規制、密の回避を目的として電子図書館サービスを開始するなどICTの利活用による対策を実施した。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施
実績	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施
数値目標	ICT新規活用件数(延べ)			
目標	1件	2件	3件	4件
実績	1件	3件	7件	
評価	達成	達成	達成	

取組項目	タブレット端末の活用		担当課	IT推進課・総務課・経営戦略課
内容	窓口や会議でタブレット端末を活用し、市民サービスの品質の向上や業務効率化、経費削減を図ります。			
令和2年度取組実績	救急現場における円滑な外国語対応を行うために、多言語翻訳アプリの活用を開始した。 また、新型コロナウイルス感染症拡大下における対面規制、密の回避を目的として、オンライン会議でのタブレットの活用を推進するとともに、介護保険施設等の入所者とのオンライン面会、相談業務での活用を行うため、タブレットの追加配備を行った。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施
実績	検討・実施	検討・実施	検討・実施	
数値目標	新規活用件数(延べ)			
目標	1件	2件	3件	4件
実績	2件	6件	11件	
評価	達成	達成	達成	

取組項目	マイナンバーカードを活用した業務の効率化		担当課	IT推進課
内容	マイナンバーカードを活用した電子申請等を検討・実施し、市民サービスの向上と業務の効率化を図ります。			
令和2年度取組実績	引き続き児童手当現況届、並びに保育の支給認定申請及び保育施設等利用申込について、情報連携により他の市区町村から課税情報を取得することにより、市民が本市へ申請手続をする際に求めている課税証明書の添付を省略し、負担軽減により市民サービスの向上を図った。また、国が実施した特別定額給付金について、マイナンバーカードの利用によるオンライン申請を受け付けるとともに、オンラインによる各証明等の申請受付の環境整備に向けて検討を行った。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施
実績	検討・実施	検討・実施	検討・実施	
数値目標	マイナンバーカード新規活用件数(延べ)			
目標	1件	2件	3件	4件
実績	2件	2件	3件	
評価	達成	達成	達成	

第7次行政改革実施計画

基本施策	1 行政運営の品質向上と効率化の推進			
具体的な方策	3 民営化・民間委託化の推進			
内容	これまで保育所の民営化、学校給食調理業務の民間委託、清掃業務の可燃ごみ収集・運搬業務の民間委託化などを進めてきましたが、今後も、窓口等の新たな業務を含めたあらゆる分野での可能性を検討し、民間活力の活用について取組を進めます。			
総合評価	平成30年度 B (2 / 3)	令和元年度 A (4 / 4)	令和2年度 A (4 / 4)	令和3年度
課題及び今後の方向性	水道営業課窓口業務等の民間委託を円滑に実施できるよう、詳細な委託業務の範囲や効果等の検討を行う必要がある。ごみ収集運搬業務の民間委託にあっては民間委託等による収集体制の見直しを行い目標達成に向けて取り組む必要がある。また、民間事業者へのさらなる業務委託、新たな指定管理者制度の導入などにより、引き続き公・民の役割を見極め、市民サービスの向上と経費削減の両側面から、新たな分野の民間活力の活用についての検討が必要である。			

令和2年度				
取組項目	水道営業課窓口業務等の民間委託	担当課	営業課	
内容	水道営業課窓口業務等の民間委託を実施します。			
令和2年度取組実績	令和3年度からの検針業務委託に向けて、委託業者を決定し、業務内容等の引継ぎを行った。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	→ 検討	→ 検討	→ 準備	→ 実施
実績	検討	検討・準備	準備	
評価	達成	達成	達成	

取組項目	ごみ収集運搬業務の民間委託	担当課	ごみ減量推進課	
内容	ごみ収集運搬業務の民間委託化など、収集運搬体制の見直しを行います。			
令和2年度取組実績	平成31年4月1日から一般廃棄物収集運搬業許可制度を導入するとともに、令和2年3月31日をもって、市公共施設を除く、直営による事業系ごみ収集の廃止を行うなど調整をすることで、ごみ収集車の1台減車を行った。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	→ 準備	→ 実施	→ 実施	→ 実施
実績	準備	実施	実施	
数値目標	減車台数			
目標	-	-	1台	-
実績	-	-	1台	-
評価	達成	達成	達成	

取組項目	新たな業務分野での民間活力の活用	担当課	関係課	
内容	新たな業務を含めたあらゆる分野での可能性を検討し、民間活力の活用について取組を進めます。			
令和2年度取組実績	民間活力の活用として、これまでの間、一部保育所の民営化や、学校給食調理業務について14校で委託を実施している他、市政だよりの1日号(特集号)デザイン作成の民間委託を実施している。また、新たな業務分野での民間活力の活用に向けて新たな指定管理者制度導入施設、民間へのさらなる業務委託の可能性に向けて検討を進めた。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	→ 検討	→ 検討	→ 検討	→ 検討
実績	検討	検討	検討	
評価	未達成	達成	達成	

取組項目	地域子育て支援センター等の運営手法等の検討	担当課	経営戦略課
内容	地域子育て支援センター及びファミリーサポートセンターの運営手法等を検討し、業務の効率化・事業コストの縮減を図る。		
令和2年度 取組実績	ゆめりあうじに設置されているげんきひろば及びファミリー・サポート・センターについて、令和2年10月に委託を開始した。また地域子育て支援基幹センターについては、こども福祉課との連携を円滑にするため、令和3年度より本庁に移転することとした。		
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標			
目標		準備	実施
実績	-	準備	実施
評価	-	達成	達成

第7次行政改革実施計画

基本施策	2 持続可能な行財政運営の確立			
具体的な方策	1 財政健全化の推進			
内容	財政健全化に向けた計画を策定し、市債及び基金現在高の適正化をはじめ、財政収支の均衡を図りながら、先を見据えた財政健全化に向けた取組を計画的に進めます。			
総合評価	平成30年度 A (3/3)	令和元年度 B (2/3)	令和2年度 B (2/3)	令和3年度
課題及び今後の方向性	財政健全化推進プランの実現に向けて当初予算編成の中で検討事項の整理を図るとともに、さらなる市民理解を得るため、引き続き、周知に努める必要がある。また、財政健全化推進プランの実現にあたっては、公債費にも注意しながら、予算編成や決算における市債借入調整などにより、市債現在高の抑制を図るとともに、基金現在高の数値目標を踏まえた予算編成を行う必要がある。			

令和2年度				
取組項目	財政健全化推進プランの推進	担当課	財務課	
内容	「財政健全化推進プラン」に基づき、これまで以上に財政健全化に向けた取組を計画的に推進し、将来を見越した持続可能な財政運営を進めます。			
令和2年度取組実績	プランに定める主要な検討事項を全庁的な取組として推進するため、都市経営戦略推進本部会議において確認・協議を行い、予算査定等を通じて見直し内容を検討し、令和3年度当初予算に反映した。また、プランの推進にあたっては、市民の方々のご理解とご協力が必要であるため、目的や必要性について、市政だよりに掲載するなど市民周知を行った。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	実施	実施	実施	実施
実績	実施	実施	実施	
数値目標	財政収支の均衡			
目標	-	-	-	収支不足約85億円の解消
実績	-	-	-	
評価	達成	達成	達成	

令和2年度				
取組項目	市債現在高の抑制	担当課	財務課	
内容	市債については将来の負担を軽減し、財政構造の弾力性を確保するため、財政見通しで示す残高以内に抑制します。			
令和2年度取組実績	平成元年度の決算を取りまとめ、決算分析を行うとともに、後年度への過度な負担を残さない範囲で交付税算入のない市債発行も含め、市債の活用を図った。健全かつ持続可能な財政運営を進めるため、「財政見通しで示す現在高以内に抑制する」という目標を順守し、市債現在高の数値目標を踏まえた予算編成を行う中で、令和2年度末の市債現在高は、前年度より1.3%増となる445億8615万2千円となった。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	実施	実施	実施	実施
実績	実施	実施	実施	
数値目標	市債現在高			
目標	462.8億円以内	463.7億円以内	457.8億円以内	454.8億円以内
実績	445.8億円	440.3億円	445.9億円	
評価	達成	達成	達成	

令和2年度				
取組項目	基金現在高の確保	担当課	財務課	
内容	基金については、年度間の財源の不均衡を調整し、健全な財政の運営を図るものであり、適正な残高が必要となるため、財政見通しで示す現在高以上を確保します。			
令和2年度取組実績	平成元年度決算において、財政調整基金からの繰り入れは行わなかったため、基金現在高は前年度から増加した。厳しい財政状況の中、令和3年度当初予算において、財源対策として実施する財政調整基金及び減債基金の繰り入れについては可能な限り抑制するとともに、令和2年度についても繰り入れは実施せず、現在高の確保に努めた。行政需要の多様化により様々な行政サービスが求められる中で事業を実施しており、目標としていた積み立て額を達成することはできなかった。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	実施	実施	実施	実施
実績	実施	実施	実施	
数値目標	財政調整基金現在高			
目標	-	27.0億円以上	31.0億円以上	34.9億円以上
実績	23.0億円 (基金現在高88.2億円)	24.5億円 (基金現在高90.1億円)	28.3億円 (基金現在高95.0億円)	
評価	達成	未達成	未達成	

第7次行政改革実施計画

基本施策	2 持続可能な行財政運営の確立			
具体的な方策	2 抜本的な事務事業の見直し			
内容	補助金や市単独事業の見直しなど、聖域なき抜本的な事務事業の見直しを進め、「選択と集中」による効果的・効率的な事業実施により、市民サービスを維持・向上しながら、歳出の削減を図ります。			
総合評価	平成30年度 B (2 / 4)	令和元年度 B (2 / 4)	令和2年度 A (3 / 4)	令和3年度
課題及び今後の方向性	人件費等の削減にあたっては、着実に取組を進めている状況にあるが、国と異なる手当についての考え方の整理などが課題となる。事務事業の見直しにあたっては、各事務事業の必要性、有効性、効率性等の観点から評価し、評価を踏まえた予算編成方針の決定を行うこととしており、今後も適宜見直しに向けた検討が必要である。			

令和2年度				
取組項目	人件費等の削減	担当課	人事課	
内容	業務量に見合った職員配置への見直しをはじめ、給与制度等見直しや旅費日当の支給基準の見直しにより、人件費等の削減を行います。			
令和2年度取組実績	昇給抑制等の給与制度の見直しを実施するとともに、職員定員については第4次職員定員管理計画に基づき、令和3年度までの4年間で20名の減員に向けて取り組んでおり、関係部局と協議を行い、その結果、令和2年度定員は5名の減員を図った。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	実施	実施	実施	実施
実績	実施	実施	実施	
数値目標	取組額(延べ)			
目標	-	-	-	9.5億円
実績	-	-	-	
評価	達成	達成	達成	

取組項目	事務事業の見直し	担当課	関係課	
内容	市単独事業をはじめ、すべての事務事業について、必要性、有効性、効率性などについて検証・分析を行い、施策の「選択と集中」による見直しを行います。			
令和2年度取組実績	事務事業について、必要性、有効性、効率性などの観点から事後評価・事前評価を実施し、各事務事業の検証、分析結果に基づいて、施策の選択と集中による事務事業見直しを行った。 主要な検討事項については、都市経営戦略推進本部会議等で進捗確認を行うとともに、所管課から予算要求にあわせて検討状況の報告書の提出を求め、予算査定等の中で整理・見直し内容の検討を行い、歳出全般にわたっての見直し等、令和3年度当初予算に反映した。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	実施	実施	実施	実施
実績	実施	実施	実施	
数値目標	取組額(延べ)			
目標	-	-	-	37.4億円
実績	-	-	-	
評価	達成	達成	達成	

取組項目	補助金の見直し	担当課	関係課	
内容	補助金については、積算根拠や効果、課題等を再評価し、全体の10%削減を目標に見直しを行います。			
令和2年度取組実績	補助金の再評価結果、関係団体等の意見も踏まえ、事業内容の見直しや、適正な補助交付となるよう精査を実施した。なお、補助金の見直しに伴う各種団体等への影響も踏まえ、令和元年度に一律的な見直しを実施しない方向で決定したため、目標とした全体の10%削減は困難な状況である。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	検討・実施	実施	実施	実施
実績	検討・一部実施	検討・一部実施	検討・一部実施	
数値目標	取組額(延べ)			
目標	-	-	-	9.8億円
実績	-	-	-	
評価	未達成	未達成	未達成	

取組項目	公社等の経営健全化	担当課	関係課	
内容	各公社等において現状把握と経営分析を行い、効果的・効率的な事業実施を促進します。また、自主事業実施によって独自財源を確保するなど自立性を高める取組を促進します。			
令和2年度取組実績	各公社等において現状把握と経営分析を行う中で、経営評価を実施し、その評価を受け、効果的・効率的な事業実施に努めた。 また、平成30年度に今後の方向性を示した「指定管理者制度に関する指針」を策定し、指定管理者の自主的な経営努力を促す観点から、利用料金制の導入や公募による次期指定管理者の選定に向けた検討を行い、文化センター、運動公園等について、令和4年度からの次期指定管理期間の開始に向けた準備を進めた。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	検討・実施	実施	実施	実施
目標見直し後	-	-	検討・準備	実施
実績	検討	検討	検討・準備	
評価	未達成	未達成	達成	

第7次行政改革実施計画

基本施策	2 持続可能な行財政運営の確立			
具体的な方策	3 新たな歳入創出と財源の確保			
内容	市税や各種料金の収入率の向上や収納方法の充実に向けた検討のほか、使用料・手数料等については適宜見直しを図るとともに、新たな歳入創出のため、駐車場の有料化や有料広告事業の拡大など市有財産のさらなる有効活用について、検討を進めます。			
総合評価	平成30年度 A (5 / 6)	令和元年度 B (4 / 7)	令和2年度 C (3 / 7)	令和3年度
課題及び今後の方向性	無料施設の有料化に向けた方針等の検討を引き続き行うとともに、公共施設の駐車場について、引き続き府内等類似施設を調査し、料金体系、導入の可否等を検討・整理する中で、新たな歳入創出と財源を確保する必要がある。市税においては、口座振替の利用率が年々低下していることから、引き続き口座振替の推進と、滞納分については京都地方税機構と連携を図りながら市税等収入率の向上に取り組む必要がある。			

令和2年度

取組項目	受益者負担の見直し	担当課	関係課
内容	受益と負担の公平性の観点から、公共施設の使用料をはじめ、手数料や負担金について、見直しを行います。		
令和2年度取組実績	無料施設の有料化について、全庁的に共有を図り、施設ごとの課題整理等を行うなど、実施の有無を含めて検討を行った。また、使用料・手数料については、平成30年度に受益と負担の公平性の観点から全体的な見直しを行った中で、令和2年度も引き続き精査を行ったものの、見直しにはいたらなかった。		
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標			
目標	検討・実施	検討・実施	検討・実施
実績	検討・実施	検討・実施	検討
数値目標	取組額(延べ)		
目標	-	-	-
実績	-	-	-
評価	達成	達成	未達成

取組項目	市有財産の有効活用	担当課	関係課
内容	公共施設駐車場の有料化や基金運用の効率化を図り、歳入を確保します。		
令和2年度取組実績	公共施設駐車場について、費用対効果や施設利用者の利便性等を考慮する中で府内等類似施設を調査し料金体系や手法等を検討したものの、有料化の実施にはいたらなかった。基金の運用については、運用益の確保を図るため、長期の債権運用を継続したものの、新型コロナウイルス感染症拡大状況の見通しが不透明な中で、新たな債権の購入は行わなかった。		
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標			
目標	検討・準備	検討・実施	検討・実施
実績	検討・準備	検討・実施	検討
数値目標	取組額(延べ)		
目標	-	-	-
実績	-	-	-
評価	達成	達成	未達成

取組項目	有料広告事業の拡大等	担当課	関係課
内容	有料広告事業の拡大やクラウドファンディングの活用など、歳入を確保します。		
令和2年度取組実績	有料広告事業においては、市の総合情報誌「くらしの便利帳」の更新年であり、広告掲載により発行費等の費用を賄い、全市民に対して行政サービスの周知を図った。引き続き12媒体において有料広告事業を展開し、歳入の確保を図るとともに、其他媒体での広告事業について検討を行ったものの、新たな導入にはつながらず、数値目標を達成することはできなかった。		
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標			
目標	検討・実施	検討・実施	検討・実施
実績	検討・実施	検討・実施	検討・実施
数値目標	取組額(延べ)		
目標	-	1.1億円	1.4億円
実績	-	0.7億円	1.1億円
評価	達成	未達成	未達成

取組項目	市税収入率の向上	担当課	納税課
内容	公平・公正な観点から、市税収入率の向上を図ります。		
令和2年度取組実績	口座振替の推進により、納期内納付の意識醸成を図り、滞納分については京都地方税機構と連携を図りながら市税収入率の向上に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響により納税が困難な方を対象に創設された徴収猶予の特例により、令和2年度の収入率は97.38%と前年度の収入率97.51%から減少した。		
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標	市税収入率 (H28:96.04%)		
目標	96.66%	96.80%	96.94%
実績	97.25%	97.51%	97.38%
評価	達成	達成	達成

取組項目	各種料金収入率の向上	担当課	関係課																																																																																
内容	公平・公正な観点から、介護・国民健康保険料、保育料、上下水道料金、住宅使用料について、収入率の向上を図ります。さらに、国民健康保険料滞納分の徴収について、京都地方税機構への移管の実施に向けて、検討を進めます。																																																																																		
令和2年度取組実績	<p>国民健康保険料徴収の適正実施に向けた収納対策の取組の一つとして、京都地方税機構への滞納整理事務の移管を行った。</p> <p>収入率では、5項目で前年度の収入率を上回ったものの、保育料の収入率が減少したため、目標を達成することはできなかった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="8">令和2年度</th> </tr> <tr> <th></th> <th>保育料</th> <th>国保料</th> <th>上水道</th> <th>下水道</th> <th>住宅使用料</th> <th>介護</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現年分収入率</td> <td>99.12%</td> <td>95.22%</td> <td>99.65%</td> <td>99.73%</td> <td>98.17%</td> <td>99.46%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>滞納分収入率</td> <td>15.42%</td> <td>23.82%</td> <td>58.42%</td> <td>65.89%</td> <td>19.59%</td> <td>12.48%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>84.46%</td> <td>80.29%</td> <td>99.31%</td> <td>99.58%</td> <td>90.13%</td> <td>98.01%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="8">令和元年度</th> </tr> <tr> <th></th> <th>保育料</th> <th>国保料</th> <th>上水道</th> <th>下水道</th> <th>住宅使用料</th> <th>介護</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現年分収入率</td> <td>98.77%</td> <td>93.49%</td> <td>99.55%</td> <td>99.67%</td> <td>98.53%</td> <td>99.38%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>滞納分収入率</td> <td>19.90%</td> <td>18.15%</td> <td>57.76%</td> <td>70.74%</td> <td>17.68%</td> <td>12.31%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>89.04%</td> <td>76.93%</td> <td>99.26%</td> <td>99.53%</td> <td>89.65%</td> <td>97.71%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			令和2年度									保育料	国保料	上水道	下水道	住宅使用料	介護		現年分収入率	99.12%	95.22%	99.65%	99.73%	98.17%	99.46%		滞納分収入率	15.42%	23.82%	58.42%	65.89%	19.59%	12.48%		計	84.46%	80.29%	99.31%	99.58%	90.13%	98.01%		令和元年度									保育料	国保料	上水道	下水道	住宅使用料	介護		現年分収入率	98.77%	93.49%	99.55%	99.67%	98.53%	99.38%		滞納分収入率	19.90%	18.15%	57.76%	70.74%	17.68%	12.31%		計	89.04%	76.93%	99.26%	99.53%	89.65%	97.71%	
令和2年度																																																																																			
	保育料	国保料	上水道	下水道	住宅使用料	介護																																																																													
現年分収入率	99.12%	95.22%	99.65%	99.73%	98.17%	99.46%																																																																													
滞納分収入率	15.42%	23.82%	58.42%	65.89%	19.59%	12.48%																																																																													
計	84.46%	80.29%	99.31%	99.58%	90.13%	98.01%																																																																													
令和元年度																																																																																			
	保育料	国保料	上水道	下水道	住宅使用料	介護																																																																													
現年分収入率	98.77%	93.49%	99.55%	99.67%	98.53%	99.38%																																																																													
滞納分収入率	19.90%	18.15%	57.76%	70.74%	17.68%	12.31%																																																																													
計	89.04%	76.93%	99.26%	99.53%	89.65%	97.71%																																																																													
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																																																																																
実施目標	収入率																																																																																		
目標	前年度実績を上回る	前年度実績を上回る	前年度実績を上回る																																																																																
実績	一部前年度実績を上回る	一部前年度実績を上回る	一部前年度実績を上回る																																																																																
評価	未達成	未達成	未達成																																																																																

取組項目	公金収納チャンネルの拡大	担当課	関係課
内容	市税等の納付機会の拡大及び市民サービスの向上を図るため、公金収納検討会議でペイジー及びクレジットカードによる収納を費用対効果も含めて検討します。		
令和2年度取組実績	公金収納検討会議において、キャッシュレス決済の他自治体での導入状況や庁内での課題を整理する中で、議論を行い、市税(固定資産税、軽自動車税、市市民税)や保育料、介護保険料、国民健康保険料、上下水道料金についてキャッシュレス決済を開始した。		
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標	公金収納チャンネルの拡大		
目標	検討	検討	準備
実績	検討	検討・準備	実施
評価	達成	達成	達成

取組項目	ふるさと納税の拡大	担当課	経営戦略課
内容	ふるさと納税業務の民間委託化により、寄付額の増額を図ります。		
令和2年度取組実績	令和元年度よりふるさと納税業務を民間委託化し、業務の効率化と民間のふるさと納税受付サイトの活用による広報の強化を図っている。令和2年度においては、納税受付サイトを拡充するとともに、返礼品の強化、より効果的な広報を行うことで、過去最高となる103,057千円の寄付金額となった。		
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標	ふるさと納税の拡大		
目標	-	実施	実施
実績	-	実施	実施
数値目標	ふるさと応援寄付金額		
目標	-	1億円	1億円
実績	7,008万円	5,943万円	1億300万円
評価	-	未達成	達成

第7次行政改革実施計画

基本施策	3時代に即した組織体制の確立			
具体的な方策	1 組織改革の推進			
内容	多様化・高度化する行政課題や市民ニーズに即応できるよう、柔軟で効率的な組織・機構の不断の見直しを進めます。また、様々な分野での民間委託化の検討を行うなど、「第4次宇治市職員定員管理計画」に基づき、適正な定員管理を進めます。			
総合評価	平成30年度 A (2/2)	令和元年度 B (1/2)	令和2年度 B (1/2)	令和3年度
課題及び今後の方向性	第4次職員定員管理計画を着実に実行する必要がある。また、引き続き、柔軟で効率的な組織・機構のあり方について検討する必要がある。			

令和2年度				
取組項目	適正な定員管理の推進		担当課	人事課
内容	様々な分野での民間委託化の検討を行うとともに、事務事業の抜本的な見直しと一体的に見直しを行うなど、「第4次宇治市職員定員管理計画」に基づき、適正な定員管理を進めます。			
令和2年度取組実績	第4次職員定員管理計画に基づき、令和3年度までの4年間で計20名の減員に向けて取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症対応等による年度途中の増員で、令和2年度の定員は平成30年度から14名減にとどまり、目標は達成できなかった。 令和3年度の定員について関係部局と協議を行い、計画の達成に向けて取組を進めた。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	実施	実施	実施	実施
実績	実施	実施	実施	
数値目標	定員削減数(延べ)			
目標	5名	10名	15名	20名
実績	7名	9名	14名	
評価	達成	未達成	未達成	
取組項目	組織・機構の見直し		担当課	人事課
内容	多様化・高度化する行政課題や市民ニーズに即応できるよう、柔軟で効率的な組織・機構の見直しを進めます。			
令和2年度取組実績	令和3年4月以降の組織・機構のあり方について検討を進め、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施、地域包括ケアヘルスシステムの構築及び地域保健を効果的・効率的に推進するため、健康生きがい課を長寿生きがい課及び健康づくり推進課に再編するなど、業務体制を見直した。 また、これまで以上に国・府と連携した都市基盤の整備を推進するために新たに技監を配置するとともに、ICT化の推進に向けては、IT推進課及び学校教育課に係を新設した。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施
実績	検討・実施	検討・実施	検討・実施	
評価	達成	達成	達成	

第7次行政改革実施計画

基本施策	3時代に即した組織体制の確立			
具体的な方策	2給与等の適正管理			
内容	勤務実績・人事評価が適切に反映される給与制度の仕組みを検討するとともに、府内各市及び全国類似団体等の状況を踏まえながら、給与の適正化を図ります。また、勤務体系の見直しなど新たな取組を検討し、時間外勤務の縮減に努めるとともに、週休日の振替制度の活用の徹底を図るなど、振替率の向上を図ります。			
総合評価	平成30年度 A (4 / 5)	令和元年度 A (3 / 4)	令和2年度 A (3 / 4)	令和3年度
課題及び今後の方向性	給与制度見直しを着実に実行しつつ、手当について見直しの方向性を検討するとともに、人事評価にあたっては適正な評価の確保等、勤勉手当への反映に向けた検討を行い、早期の実施に繋げていく必要がある。また、振替率の目標が達成できていない状況であり、原因を分析するとともに、引き続き、制度目的等の周知に努めていく必要がある。			

令和2年度				
取組項目	給与の適正化		担当課	人事課
内容	ラスパイレス指数が高い状況を踏まえ、給与制度見直し等により給与の適正化を図ります。			
令和2年度取組実績	ラスパイレス指数の適正化に向けて、財政健全化推進プラン等により昇給抑制等の給与制度の見直しを、引き続き実施するとともに、人事院勧告を踏まえて、給与の改定を行った。扶養手当における配偶者、子の支給額について、国の改定経過を踏まえた見直しを実施した。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施
実績	検討・実施	検討・実施	検討・実施	
数値目標	取組額(延べ)			
目標	-	-	-	3.8億円(人件費等の削減の取組額に含む)
実績	-	-	-	
評価	達成	達成	達成	

取組項目	人事評価の給与への反映		担当課	人事課
内容	管理職員の一部で試行的に実施している人事評価の給与への反映について、本格実施とともに対象者の拡大を進めます。			
令和2年度取組実績	課長級以上に実施している目標管理結果の勤勉手当への反映について、令和3年度からの全管理職への適用に向けて周知、説明を行うとともに、公正な評価を確保できるよう、制度概要や目的等について研修を実施した。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	検討・準備	検討・実施	検討・実施	検討・実施
実績	検討・準備	検討・実施	検討・実施	
評価	達成	達成	達成	

取組項目	時間外勤務の縮減		担当課	人事課
内容	ノー残業デーの拡充など新たな取組を検討し、継続的に時間外勤務の縮減を図ります。			
令和2年度取組実績	時間外勤務の縮減目標を立て、所属長ヒアリングを行うなど全庁周知を図るとともに、管理職員に対する研修を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止等も重なり、年間の時間外勤務時間数は、前年度と比較して、11,779時間の減となった。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	実施	実施	実施	実施
実績	実施	実施	実施	
数値目標	時間外勤務時間(H28:150,757時間)			
目標	145,000時間	139,000時間	137,000時間	135,000時間
実績	130,974時間	138,632時間	126,853時間	
評価	達成	達成	達成	

取組項目	週休日の振替率の向上	担当課	人事課
内容	週休日の振替について、制度内容の周知とともに制度活用を徹底し、振替率の向上を図ります。		
令和2年度取組実績	週休日の振替率の目標を立て、振替率の上昇に向けて、所属長ヒアリング等や所属長研修、全庁通知等を行ったが、振替率は32.80%に留まり、数値目標を達成することはできなかった。		
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標	振替率 (H28:52.9%)		
目標	実施	実施	実施
実績	実施	実施	実施
数値目標	振替率 (H28:52.9%)		
目標	58%	64%	70%
実績	55.49%	49.23%	32.80%
評価	未達成	未達成	未達成

第7次行政改革実施計画

基本施策	3時代に即した組織体制の確立			
具体的な方策	3人材育成の推進			
内容	「宇治市職員人材育成基本方針」に基づき、「人事制度」「職員研修」「職員の健康管理」、さらに良好な「職場風土」の醸成を有機的に結びつけ、将来の宇治市を担う人材の育成に努めます。また、さらなる行政改革の取組に向けて、職員の意識をより高める取組を進めます。			
総合評価	平成30年度 A (2/2)	令和元年度 A (2/2)	令和2年度 A (2/2)	令和3年度
課題及び今後の方向性	ポストコロナ社会における今後の効果的な研修のあり方や意識改革のための手法について、検討する必要がある。			

令和2年度				
取組項目	職員研修の実施		担当課	人事課
内容	「宇治市職員人材育成基本方針」に基づき、現在に求められる職員像の実現に向けて、職員の現状把握・課題等の検証を行い、職員研修内容の見直し・充実を図りながら、将来の宇治市を担う人材の育成に取り組めます。			
令和2年度取組実績	「宇治市職員人材育成基本方針」に基づき、職員の人材育成に努めるため、各種研修を実施し、職員の能力開発や意識改革等に取り組んだ。 各部から若手職員が参加する「チーム型政策研究プログラム」を実施し、施策立案に向けたアプローチの手法等について学んだ。令和2年度は、同研修をWeb会議システムを取り入れて実施し、今後必要とされるオンライン形式でのコミュニケーションを実践することで、ポストコロナ社会に向けた人材育成を行った。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施
実績	検討・実施	検討・実施	検討・実施	
評価	達成	達成	達成	

令和2年度				
取組項目	職員の意識改革と職場風土の醸成		担当課	経営戦略課・人事課・総務課
内容	企画立案力と実行力のある人材などの育成や行政改革の取組に対する職員の意識をより高めるとともに、良好な職場風土の醸成のため、職員提案制度及び政策研究の見直し・充実や、業務改善を常に提案できる仕組みの構築を図ります。			
令和2年度取組実績	「宇治市職員人材育成基本方針」に基づき、職員の人材育成に努めるため、各種研修を実施し、職員の能力開発や意識改革、職場風土の醸成に取り組んだ。職員からの政策提案、企画立案に向けた研究を実施する「政策形成プログラム」においては政策アイデア、政策研究を募集するとともに、大学との共同研究にも取り組む中で、廃棄自転車の輸出事業を具体化した。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	検討・実施	実施	実施	実施
実績	検討・実施	検討・実施	検討・実施	
数値目標	職員提案制度等により具体化した取組件数(延べ)			
目標	5件	6件	7件	8件
実績	5件	7件	8件	
評価	達成	達成	達成	

第7次行政改革実施計画				
基本施策	4 多様な主体との協働とまちづくりの推進			
具体的な方策	1 市民参画・協働の推進			
内容	地域コミュニティの活性化に向けた支援等に取り組むとともに、市民と行政のパートナーシップによる魅力的なまちづくりを進めます。また、これらを実現するため、職員の市民参画・協働の取組に対する意識の醸成を図ります。			
総合評価	平成30年度 C (1 / 3)	令和元年度 B (1 / 2)	令和2年度 B (1 / 2)	令和3年度
課題及び今後の方向性	地域コミュニティ活性化施策の実施にあたっては、ワークショップでの市民意見も参考にしながら、今後の必要な施策を検討し実施していく必要がある。また、市民協働推進に向けた職員同士による部局横断的な意見交換の実施により、市職員に対する連携のあり方の周知徹底を行うとともに、引き続き、市民と地域コミュニティについて考える機会の創出について検討する必要がある。			

令和2年度				
取組項目	地域コミュニティ活性化施策の実施	担当課	自治振興課	
内容	地域コミュニティ活性化は、これからのまちづくりにおいて不可欠であるため、施策の効果を検証しながら、さらなる活性化施策を実施します。			
令和2年度取組実績	将来世代の視点・利益を反映するフューチャー・デザインという手法を用いて、地域コミュニティ活性化について、「宇治の今と未来を地域からつくる」をテーマに官民学が連携してシンポジウム及びワークショップをオンラインや会場で実施した。学術的な講演に留まらず、市民目線での講演や体験談を話してもらう場を設け、個々人の意識の醸成を図ったものの、令和2年度については、数値目標を達成することはできなかった。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施
実績	検討・実施	検討・実施	検討・実施	
数値目標	町内会・自治会加入率			
目標	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%
実績	64.40%	61.38%	60.3%	
評価	未達成	未達成	未達成	

取組項目	市民協働推進に向けた職員研修の実施	担当課	自治振興課	
内容	市民との協働を進めるためには、職員の市民協働に対する意識の醸成が必要なため、職員育成に向けた研修を実施します。			
令和2年度取組実績	多様化する市民ニーズの中で、個々の所属単位では解決できない課題が少なくなく、職員間の縦割りの解消と市民協働に対する意識改革を目的として組織横断的にワーキンググループを立ち上げた。また、今後予定している地域との懇談会の準備段階として、当ワーキンググループの職員による意見交換会を実施し、各所属における課題の共有を図った。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	実施	実施	実施	実施
実績	未実施	実施	実施	
評価	未達成	達成	達成	

第7次行政改革実施計画

基本施策	4 多様な主体との協働とまちづくりの推進			
具体的な方策	2 NPO・大学等各種団体との協働の推進			
内容	NPOや大学をはじめ各種団体、民間企業と行政が連携を深めながら、様々な分野で協働できる関係を構築し、より一層の協働によるまちづくりを進めます。			
総合評価	平成30年度 B (2 / 3)	令和元年度 A (3 / 3)	令和2年度 A (3 / 3)	令和3年度
課題及び今後の方向性	多様な主体との協働とまちづくりの推進に向けて、大学・短期大学との連携については、今後もインターンシップの受け入れ及び共同研究の継続実施に向けて検討を進めていく必要があり、NPOとの協働については、協働事業の調査を継続して実施する中で実態把握に努め、様々な分野での協働事業に活用していく必要がある。			

令和2年度				
取組項目	大学との協働の推進	担当課	経営戦略課	
内容	包括連携協定に基づき、これまでの協働による取組を継続しながら、さらに連携を深め、様々な分野での協働の取組を進めます。			
令和2年度取組実績	これまで京都文教大学・短期大学、京都大学宇治キャンパス、京都府立大学と包括連携協定を締結しており、行政課題の解決等に向けて、先進的な取組について共同で政策研究の実施を行うとともに、連携調整会議等を開催した。市の魅力発信に向けて、共同で今後の方向性について検討を始めるとともに、地元の府立高校の授業の一環として、市職員も含めた市内各分野からの講師を募り、高校生が宇治について学び、考える地域探求型の取組を実施した。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施
実績	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施
数値目標	協働取組新規実施件数(延べ)			
目標	-	10件	15件	20件
実績	5件	10件	15件	
評価	達成	達成	達成	

取組項目	NPOとの協働の推進	担当課	関係課	
内容	これまでの協働による取組を継続しながら、さらに連携を深め、様々な分野での協働の取組を進めます。			
令和2年度取組実績	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により文化・芸術活動の発表の場が中止、延期となっている状況において、インターネットの動画配信による活動発表の場を提供する取組など、各団体等と様々な協働事業を実施することができた。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施
実績	検討	検討・実施	検討・実施	
数値目標	協働取組新規実施件数(延べ)			
目標	-	3件	4件	5件
実績	-	3件	4件	
評価	未達成	達成	達成	

取組項目	民間企業との協働の推進	担当課	関係課	
内容	包括連携協定に基づき、これまでの協働による取組を継続しながら、さらに連携を深め、様々な分野での協働の取組を進めます。			
令和2年度取組実績	新たに大塚製薬株式会社京都支店及び三井住友海上火災保険株式会社と包括連携協定を締結し、新型コロナウイルス感染症拡大下において、対策にあたる市職員に対し、熱中症対策、健康維持のための製品の提供を受けたほか、市民に対する熱中症対策の啓発の取組や地域事業者を対象とした緊急時のBCP(事業継続計画)策定のセミナーなどを実施した。また、ソフトバンク株式会社との共同により、市民へのスマートフォン使い方講座の開催を行うなど、オンラインでの交流の促進に向けて取組を実施した。			
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施目標				
目標	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施
実績	検討・実施	検討・実施	検討・実施	
数値目標	協働取組新規実施件数(延べ)			
目標	-	20件	25件	30件
実績	15件	21件	26件	
評価	達成	達成	達成	

第7次行政改革実施計画

基本施策	4 多様な主体との協働とまちづくりの推進			
具体的な方策	3 公共施設等アセットマネジメントの推進			
内容	「宇治市公共施設等総合管理計画」に基づき、更新・統廃合・長寿命化等や、利用料金制導入、新たな公募施設の検討など指定管理者手法等の見直しも含めた適切な方法による施設の管理運営など、公共施設等アセットマネジメントを推進し、市民参画・協働によるまちづくりを進めます。			
総合評価	平成30年度 A (6/6)	令和元年度 A (8/9)	令和2年度 A (7/8)	令和3年度
課題及び今後の方向性	「宇治市公共施設等総合管理計画」に基づき、順次、個別計画等を策定しており、学校等の長寿命化など、引き続き個別計画等の策定を行う必要がある。また、指定管理者制度については、手法の見直しのための指針に基づき、公募・非公募、利用料金制度の導入について各施設毎に検討を行う必要がある。			

令和2年度

取組項目	指定管理手法等の見直し	担当課	経営戦略課
内容	外部有識者会議を設置し意見を求めながら、利用料金制導入や新たな公募施設の検討など指定管理手法等の見直しを行います。		
令和2年度取組実績	指定管理者制度の手法等の見直しを行うため、「指定管理者制度に関する指針」に基づき、令和3年度に指定管理期間が終了する一部の施設について、公募による指定管理者の選定を視野に入れ、民間の参入意向調査や効率的かつ市民ニーズを捉えた運営の可能性について調査・検討を進めた。		
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標			
目標	検討・準備	実施	実施
実績	検討・準備	実施	実施
評価	達成	達成	達成

取組項目	集会所の見直し	担当課	自治振興課
内容	集会所は、耐震性に課題もあるため、他の施設との複合化や統廃合、地域組織への移管など施設の今後の方向性を示し、見直しを進めます。		
令和2年度取組実績	「地域コミュニティ再編計画」に基づき耐震改修を実施するとともに、地域による主体的な集会所運営等について、各集会所の管理団体へ説明及び意見交換を行った。施設の状況を総合的に検討する中で、集会所3施設の令和3年4月1日の廃止を決定した。		
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標			
目標	検討	準備	実施
実績	検討	準備・実施	準備・実施
評価	達成	達成	達成

取組項目	ふれあいセンターの見直し	担当課	自治振興課
内容	ふれあいセンターは、耐震性に課題もあるため、他の施設との複合化や統廃合など施設の今後の方向性を示し、見直しを進めます。		
令和2年度取組実績	「ふれあいセンターの今後のあり方について(菟道・伊勢田・平盛)」に基づき、廃止した伊勢田ふれあいセンター及び平盛ふれあいセンターの解体工事と菟道ふれあいセンターの一部の解体工事を実施した。伊勢田ふれあいセンター跡地については、公募型プロポーザル方式で新たな地域交流を基盤としたコミュニティ活動の場として提案を受け、売却を行った。		
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標			
目標	検討	準備・実施	実施
実績	検討	準備・実施	実施
評価	達成	達成	達成

取組項目	学校規模等適正化の推進	担当課	教育総務課・学校管理課・学校教育課
内容	小・中学校は、人口減少や少子化の状況を踏まえ、学校施設の縮小や統廃合、小中一貫校整備など今後の方向性を示し、学校規模・配置の適正化を進めます。		
令和2年度取組実績	西小倉地域における小中一貫校整備の検討において、西小倉地域の小・中学校のあり方検討委員会より、小中一貫校の設置要望を受けており、地域や保護者と小中一貫校の開校場所についての意見交換を行うため、地域主体の協議会を立ち上げた。		
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標			
目標	検討	検討	検討・準備
実績	検討	検討	検討・準備
評価	達成	達成	達成

取組項目	公民館の見直し	担当課	生涯学習課
内容	宇治公民館は、他の施設との複合化や機能移転等により対応するとともに、他の公民館についても他の施設との複合化や統廃合など施設の今後の方向性を示し、見直しを進めます。		
令和2年度取組実績	市教育委員会にて、条例廃止を念頭においた公民館の今後のあり方についての方針を作成し、127の利用団体、登録サークルに対して個別説明会を実施したものの、十分な理解を得るに至っておらず、検討に留まっている状況である。		
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標			
目標	検討	準備	実施
実績	検討	検討	検討
評価	達成	未達成	未達成

取組項目	宇治市公共施設等総合管理計画の適正な進行管理	担当課	経営戦略課
内容	「宇治市公共施設等総合管理計画」に基づき、更新・統廃合・長寿命化など個別施設の今後の方向性について検討を進めるなど、適正に進行管理を行います。		
令和2年度取組実績	「宇治市公共施設等総合管理計画」に基づき、更新・統廃合・長寿命化など個別施設管理計画の策定を進めてきた中で、令和3年度に各施設の状況、方向性を踏まえた計画の改定を予定しており、必要となる作業等について確認を進めるなど準備を行った。		
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標			
目標	検討	検討	検討
実績	検討	検討	検討
評価	達成	達成	達成

取組項目	自転車等駐車場の見直し	担当課	交通政策課
内容	駐輪場の大規模改修・更新等の方針・手法の検討にあたっては、駐輪需要・稼働率のほか、少子高齢化の進展等を踏まえ、現状施設の規模の見直しも含めて検討を行う。		
令和2年度取組実績	「宇治市自転車等駐車場再整備実施方針」における各駅の方針に基づき、駐輪場整備の方向性について検討を行い、近鉄伊勢田駅前第1自転車等駐車場については、指定管理者との協議により令和2年度をもって廃止とし、第2自転車等駐車場の北側に適正規模の駐輪場を新設した。		
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標			
目標		準備	準備・実施
実績	-	準備・実施	準備・実施
評価	-	達成	達成

取組項目	自転車等駐車場の指定管理手法等の見直し	担当課	経営戦略課
内容	自転車等駐車場において公募による指定管理者の選定を検討する。		
令和2年度取組実績	「指定管理者制度に関する指針」に基づき、近鉄伊勢田駅前に新設した自転車等駐車場について、公募により令和3年度以降の指定管理者の選定を行った。		
目標・評価年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施目標			
目標	-	検討	準備・実施
実績	-	検討	実施
評価	-	達成	達成

総合評価一覧

体系番号	項目番号	項目名	令和2年度
1	1-1	市民サービスの品質向上	A (3 / 3)
	1-2	ICT利活用の推進	A (3 / 3)
	1-3	民営化・民間委託化の推進	A (4 / 4)
2	2-1	財政健全化の推進	B (2 / 3)
	2-2	抜本的な事務事業の見直し	A (3 / 4)
	2-3	新たな歳入創出と財源の確保	C (3 / 7)
3	3-1	組織改革の推進	B (1 / 2)
	3-2	給与等の適正管理	A (3 / 4)
	3-3	人材育成の推進	A (2 / 2)
4	4-1	市民参画・協働の推進	B (1 / 2)
	4-2	NPO・大学等各種団体との協働の推進	A (3 / 3)
	4-3	公共施設等アセットマネジメントの推進	A (7 / 8)

A評価	8	67 %
B評価	3	25 %
C評価	1	8 %
D評価	0	0 %

A～D評価(達成数/取組項目数)

< 追加取組項目 >

令和2年度

基本施策	4 多様な主体との協働とまちづくりの推進	具体的な方策	3 公共施設等アセットマネジメントの推進
取組項目	自転車等駐車場の指定管理手法等の見直し	担当課	経営戦略課
内容	近鉄伊勢田駅前自転車等駐車場において公募による指定管理者の選定を検討する。		

令和元年度

基本施策	1 行政運営の品質向上と効率化の推進	具体的な方策	3 民営化・民間委託化の推進
取組項目	地域子育て支援センター等の運営手法等の検討	担当課	経営戦略課
内容	地域子育て支援センター及びファミリーサポートセンターの運営手法等を検討し、業務の効率化・事業コストの縮減を図る。		
基本施策	2 持続可能な行財政運営の確立	具体的な方策	3 新たな歳入創出と財源の確保
取組項目	ふるさと納税の拡大	担当課	経営戦略課
内容	ふるさと納税業務の民間委託化により、寄附額の増額を図ります。		
基本施策	4 多様な主体との協働とまちづくりの推進	具体的な方策	3 公共施設等アセットマネジメントの推進
取組項目	自転車等駐車場の見直し	担当課	交通政策課
内容	駐輪場の大規模改修・更新等の方針・手法の検討にあたっては、駐輪需要・稼働率のほか、少子高齢化の進展等を踏まえ、現状施設の規模の見直しも含めて検討を行う。		
基本施策	4 多様な主体との協働とまちづくりの推進	具体的な方策	3 公共施設等アセットマネジメントの推進
取組項目	天ヶ瀬墓地公園・斎場の指定管理手法等の見直し	担当課	経営戦略課
内容	天ヶ瀬墓地公園・斎場において公募により指定管理者を選定するとともに、利用料金制度の導入を図る。		

< 取組達成項目(削除取組項目) >

令和3年度

基本施策	4 多様な主体との協働とまちづくりの推進	具体的な方策	3 公共施設等アセットマネジメントの推進
取組項目	天ヶ瀬墓地公園・斎場の指定管理手法等の見直し		
内容	天ヶ瀬墓地公園・斎場において公募により指定管理者を選定するとともに、利用料金制度の導入を図る。		

令和元年度

基本施策	3 時代に即した組織体制の確立	具体的な方策	2 給与等の適正管理
取組項目	旅費等の見直し(日当の見直し)		
内容	府内各市及び類似団体と比較し、日当の支給基準の見直しを図ります。		

平成30年度

基本施策	4 多様な主体との協働とまちづくりの推進	具体的な方策	1 市民参画・協働の推進
取組項目	議案のホームページ公表		
内容	市民参画・協働を進めるためには、市民に市の施策の方向性や現状をより広く知ってもらう必要があるため、議会へ提案する議案をホームページで公表します。		